

突き指

・突き指とは？

一般的には球技をしていてボールで指を突いた際に発生することが多いです。
稀に日常生活で物について発生する成人もいます。
昔は突き指をしたら「指を引っ張れば治る」とも言われていました。
それが本当に正しいのかは疑問が残りますが、現在の医学では「たかが突き指、されど突き指」と考えられるくらい、突き指の治療は慎重に行うべきと考えられています。

好発する年齢は？

当院で突き指の治療をする患者さんの大多数は学生です。
体育や部活動、クラブ活動などで損傷していることが多いです。

・どこを痛めるの？

突き指損傷で痛めるのは関節の間に存在するクッションを痛めることが多いです。
それを専門的に掌側板（しょうそくばん）と呼んでいます。
他にも靭帯や骨折を伴う突き指損傷もあります。

・どうやって突き指を評価するの？

若田接骨院では超音波観察装置（Xario 200 | 超音波観察装置 | キヤノンメディカルシステムズ）を用いて詳細に患部を観察しております。細かな靭帯損傷も見逃すことはありません。レントゲンは骨しか写し出しますが、超音波観察装置では生体内すべての組織を映し出すので掌側板以外の損傷が見つかることも多々あります。掌側板損傷以外にも靭帯損傷や骨折の有無のチェックに超音波観察は役立ちます。



突き指損傷



・治療はどうやって行うの？

若田接骨院が最も大切にしていることは『固定』です。損傷した組織の場所・損傷具合などを考慮して固定の強度を決定します。軽ければテーピング、損傷が重度であれば合成樹脂の材料で患部の安静を保ちます。

適切な固定を行うことで早く日常生活に復帰することができます。

特にスポーツをしている学生にとって適切な固定は、競技復帰を早期に実現してくれるために必要不可欠なことになります。

・どれくらいで治療が終わるの？

突き指損傷であれば約3週～5週で治療は終わります。

適切な処置や管理ができていれば後遺症が残ることもありません。

若田接骨院ではインフォームドコンセントを心がけ、患者様が不安にならないような環境に努めて参ります。



突き指はレントゲンでは評価できないことがあります。
超音波観察であれば正確に評価することができます。
いつまでも治らない突き指は評価が間違っている可能性があります。
若田接骨院は超音波観察も用いて正確な評価をしております。
突き指でお困りの方は、ぜひご来院くださいませ。